

壬申九月廿三日

第一番中学

本省御中

別紙表面物価ヲ記載致シ候得共概略之儀ニ付追而真物買得之
後相改可申候也

〔朱書〕
〔不得已事情ニ付最初之儀ハ一時半年分其学校エ御預ケ渡相渡
候事〕

〔朱書〕
〔壬申九月廿七日〕 印

〔別紙欠〕

〔文部省往復〕明治五年甲、㊦A3

20 第一大学区第一番中学生徒給貸金支給方法に付再上申

〔明治五年九月二十三日〕

長 (伴正順) ㊦

録 (飯田恒男) ㊦ (吉武樽) ㊦

給貸之儀ニ付過日相伺候処六ヶ月分前以御渡之義御聞届難相成
尤一時不得止事情も候ハ、委曲取調可伺出旨御達相成候処右ハ
飲食衣服傘靴ヲ始教場用之品物ハ勿論布団フランケット之如ク
年限中之一品ト雖別紙表面之通一時悉皆御附与相成候義ニ付最
初ハ六ヶ月平均ナラデハ支給之方法難相立尤七ヶ月目ハ定額
之通金拾円ツ、御渡相成候而相弁可申見込ニ御座候間前条最初
之分丈ケ来ル十月ハ癸酉三月迄六ヶ月分御渡有之度此段更ニ申
上候也